

# 香川県 若年性認知症支援コーディネーター事業通信

木々の芽吹きに春を感じるこの頃ですが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。

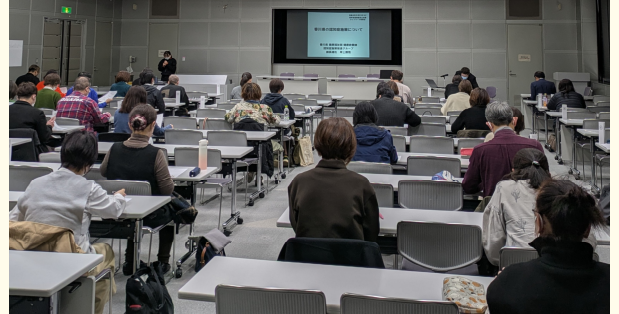
さて、2月21日に、若年性認知症自立支援ネットワーク研修会を開催しました。今回は、研修会の様子をご紹介します。

## ネットワーク研修会

若年性認知症の方を支援するうえで大切な「ソフトランディングの視点」についてご紹介しました。

「ソフトランディングの視点」とは、若年性認知症のゆっくりと変化する症状や能力に応じて、本人や家族の希望に寄り添って周りがサポートし、少し先を見据えながら、切れ目のない支援をすることを言います。

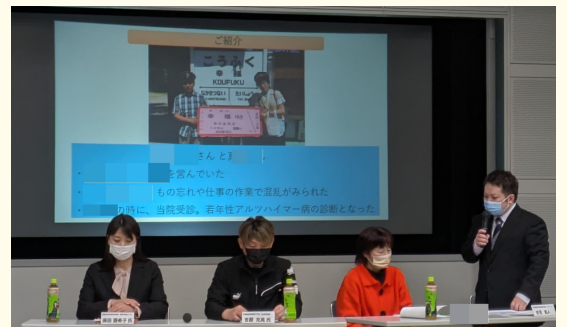
「若年性認知症の人をソフトランディングの視点で支える～福祉的就労支援で“働きたい”を叶えた男性のこれまでと介護保険サービスで支えるこれから～」と題し、ご本人への関わりについて、ご家族の中村様、多機能型事業所ワラビの生活支援員の吉原様、高松市社会福祉協議会障がい者相談支援センターの相談支援専門員の藤田様をシンポジストにお招きし、パネルディスカッションをしました。



〈研修会の様子〉

シンポジストの皆さんと一緒にご本人の経過を振り返りながら、これまでの支援で大切にしてきたことなどを発表しました。また、ご家族の中村様には、これからの生活に対する思いも話していただきました。

意見交換では、若年性認知症の方の生活の変化に寄り添う視点などを話し合いました。



〈(左から)藤田様、吉原様、中村様〉

# 参加者の皆さまのご感想

- ・なかなか家族のお話や他の事業所さんのお話を聞く機会がないので、とても良かった
- ・相談支援専門員として、ご本人の思いを前向きに考えて取り組む支援者でありたいと感じた
- ・同じ思いで支え合えるネットワークづくりをしていきたい
- ・自分の立場でできることを考えて、少しでも実行できるようにしたい
- ・ご本人、ご家族の思いなどが行政や各事業所へと繋いでいかれたことだと思う
- ・障がい福祉サービスの就労支援について学ぶことができた
- ・サービス事業所の方の寄り添いが素晴らしいと思った。奥様の献身的サポートがあつてのことだと思うので、奥様の心のサポートは重要であると思った
- ・障がい者相談支援の方は、「新しい認知症観」を初めて聞いたと仰っていた。この考え方の啓発を進める重要性を感じた

など

たくさんのご感想ありがとうございました



## 〈発行元〉

香川県若年性認知症支援相談窓口  
TEL 080-4719-5073  
メール iwaki-sc@oregano.ocn.ne.jp  
(受託先)医療法人社団 以和貴会 いわき病院